

## 果樹ロボットワーキンググループ

令和3年6月22日発足

### 【活動目的】

令和2年4月に国が公表した果樹農業振興基本方針の中で、「低下した供給力を回復し、生産基盤を強化するため、高品質を維持しつつ、省力樹形や機械作業体系等の導入による労働生産性の抜本的な向上や、担い手の明確化と樹体を含めた園地の次世代への円滑な経営継承を進めていくことが急務である」としており、労働生産性の向上の効果を最大限発揮するには、スマート農業の実現に向けた機械作業体系の導入を推進することとしている。

また、果樹生産現場においては、機械化に適した樹形への転換や園内作業道の整備が必要であることから、機械作業体系の導入を見越した計画的な改植や園地整備を行っていくことが重要であるとしている。

果樹農業の生産基盤の維持・強化のためのスマート農業の実践に向け、果樹ロボットの導入を早急に進めるための“果樹ロボットワーキンググループ”を設立し、以下の①～④を目的とした活動を展開したい。

- ① 生産現場に、まずはスマート農業に興味を持っていただき、地域・共同・個人での機械作業体系導入について、イメージを描いてもらう。
- ② 生産現場に対し、ロボット作業に適した樹形の導入や基盤整備に伴うロボット、設備等必要な資機材について、アドバイスをを行う。
- ③ 果樹ロボットワーキンググループは、活動目的達成に向けて相互に情報交換・共有を行いながら、ビジネスモデルを確立し、全国展開を図るものとする。
- ④ 実演可能となった段階で、果樹生産者やJA等の満足度を確認し、生産現場のニーズに応えた果樹ロボットの改良や新たな試作に努める。

### 【活動内容】

- ① 果樹ロボットの研究成果を、生産出荷団体及び生産者まで周知する。
- ② 果樹ロボットの試作機が完成した段階で、実演披露する場を設定する。
- ③ 開発者・研究者側の考えと生産現場の考えや求めていることのマッチングを図るため、必要に応じて調査等を実施する。

### 【果樹ロボットワーキンググループ 参加団体】

株式会社デンソー

国立大学法人 東京大学

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門

日本園芸農業協同組合連合会

### 【お問合せ先】

日本園芸農業協同組合連合会 業務部生産振興課

Tel 03-5492-5421

e-mail [kankitsu@nichienren.or.jp](mailto:kankitsu@nichienren.or.jp) または [rakuyou@nichienren.or.jp](mailto:rakuyou@nichienren.or.jp)